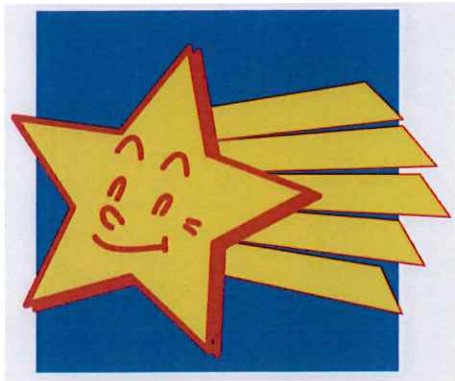


GINGA 通信



第43号【年2回発行】

- **ぎんが工房** 障害福祉サービス (就労継続B型・生活介護・日中一時)
- **きららベーカリー** 障害福祉サービス (就労継続支援B型)
- **コスモス** 障害者支援施設 (施設入所支援・生活介護・短期入所・日中一時)
- **コスモス通所** 障害福祉サービス (生活介護)
- **びゅー** 居宅介護・行動援護・移動支援・日中一時支援 等
- **きらり** 放課後等デイサービス
- **相談室りゅうおう** 障害児者相談支援・自立生活援助・地域移行支援等
- **雀のお宿 I・II・III** 共同生活援助
- **雀のお宿** 認知症高齢者グループホーム
- **おひさま** 障害福祉サービス (生活介護・日中一時)
- **らしりば** 障害福祉サービス (就労継続支援A型)
- **ミラテラス** 共同生活援助
- **みなぼし** 障害福祉サービス (生活介護)

社会福祉法人 **ぎんが福祉会**
 〒400-0118 山梨県甲斐市竜王 267-3
 TEL 055-278-2266 FAX 055-278-2267

ごあいさつ

令和6年4月(実際は5月)より、昭和町内に開設した障害福祉サービス事業所「みなぼし」施設長の久保と申します。「みなぼし」とは大和言葉にある「ぎんが」を意味しています。ぎんが福祉会を代表するような施設になる、そんな思いを込め名付けました。皆様から支持され、利用していただける施設を目指し、業務に邁進します。皆様からのご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

さて、ぎんが通信のあいさつ文として相応しいか難しいところですが、私が最近「幸せとは？」と考えさせられたことがあったので、ここに述べたいと思います。ある勉強会にて、大坪上人(当法人 OB)が『今世界は戦時下にあります。戦争に巻き込まれた人は「戦争が無ければ幸せなのに」と思っているでしょう。また、家族と離れ離れになった人は「家族さえ居てくれたら幸せだ」と思うでしょう。そのような状況にあれば、誰もがそのような思いに至ります。どうでしょうか、今私たちは戦争のない日本で暮らし、家族と一緒に過ごせています。皆さんは常に幸せを感じ生きていますか？ 何らかの不平不満を感じ、ときに「不幸せだ」なんて嘆くこともありますよね？』と話されました。私はハッとしました。自分のことだと思いました。大坪上人は話を続けます。『ある女性が重い病気で入院していました。婚約者の彼が病院外のコンビニに連れ出します。そこで女性は「夏の風を頬に感じた」と喜びます。そして彼に「彼方は気づかないよね、この幸せに」と言います。彼も私たちも、夏の少し暖かい風を頬に感じたとして、それを「幸せだ」とは感じないのです。私たちはそこにある「幸せ」に気づけないのです』と話されました。

私は多くの幸せの中にいます。ですが、私は鈍感だから、その幸せな日々気づけないのでしょうか。改めて自分のこれまでを、今を振り返ります。十分に幸せだな、と思えました。良い人たちに支えられて、感謝感謝です。でも、まだまだ足りません。宮沢賢治は「世界がぜんたい幸福にならないうちは個人の幸福はあり得ない」とメッセージを残しました。先に紹介した「みなぼし」は、皆の幸せのために存在しなくては成りません。利用者、保護者、職員、地域の人々、世界全体の幸せがあります。そんな幸せに気づき、感じ取り、形にしてこれからにつなげていきたいと、今そう思っています。

おひさま/みなぼし 施設長 久保貴洋



ぎんが工房



商品カタログ ↑



@GINGAKO_BO



GINGAKOBO



ぎんが工房は平成8年9月1日に開所し、今年で28年を迎えました。前回(前年度)の通信では内装工事について触れましたので、今回は外壁についてお伝えします。ここ数年建物の老朽化に伴い、壁紙等の内装工事を中心におこなって来ました。今回やっと外壁工事(6月~8月)をおこなう事が出来ましたので、この場を借りてお披露目させていただきます。ベースは濃い茶色を基調に白のラインでアクセントを付けました。看板も現代風に横文字にしました。早速9月上旬、新しくなった「ぎんが工房」のエントランス前で集合写真を撮影しましたのでご覧ください。また、ぎんが工房のオリジナル「商品カタログ」がやっと完成しましたのでお知らせします。こちらは2年前から自主製品の見直しをおこなっており、クッキー・サブレ・コンフィチュール等をパティシエにも関わって頂きながら商品化しました。これからは販路拡大にむけて取り組んでいきたいと思ひます。

きららベーカリー



今年度に入り6月には高校の学園祭(城西高校、甲府南高校、甲陵高校)、7月に優和福祉専門学校オープンスクール、8月は県立大学イベント等に声を掛けて頂き販売しました。販売時「僕が作っているマフィンは何ですか?美味しいですよ~!」の利用者の声掛けセールスに、買って下さった方が翌日も顔を出してくれ「おすすめマフィンがとても美味しかったわよ!」と再度購入して頂きました。利用者もイベント販売には行きたいと手を挙げる人も多く、お客様の「生の声」が仕事へのやり甲斐に繋がっているのだと思ひます。

また、8月31日(土)双葉にある登美の丘ワイナリー様よりイベント(登美の丘ワイナリーまつり2024)販売の声を掛けて頂き行って来ました。地域ふれあいの日と題して、地元の企業が集まりイベントを開催しました。音楽ステージあり、ぶどう見学ツアーあり、手形でぶどうを作ろうアート等が開催され、コロナ禍ではありますが、コロナ以前に戻ってきているなど感じた販売でした。



@KIRARA.BAKE



登美の丘ワイナリー販売



↑ 店舗内販売 ↓





ミラテラスは現在利用者が6名となり、開所以来最多の人数で賑やかな毎日を過ごしています。春先は近所のお花見スポットへ桜を見に行き、週末晴れた日は広い駐車場で「シャボン玉」や「ボール遊び」を楽しみました。夏になると猛暑でなかなか外に出かけることは出来ませんでした。夕方の涼しい時間帯に施設のベランダで夕涼みをし、外の空気を感じています。暑い夏を乗り切るために、週末何度かかき氷を作り、色とりどりのシロップから好きな味を選び楽しみました。8月には楽しみにしていた地域の夏祭りが台風で延期となってしまいましたが、お祭りで使用するキャンドル作りを行いながら10月の開催を心待ちにしています。



前回のぎんが通信でも紹介しましたが、ミラテラスの玄関には、利用者のご家族の方からいただいた毛糸のモチーフを使用したウォールアートがあります。春先には『桜の木』をイメージし、ピンクのモチーフを壁一面に飾りました。秋には紅葉、冬はクリスマスなど季節に合わせたウォールアートを作成予定です。ぜひ来訪された際はご覧ください。



今年の6月で開所から4年を迎えることができました。時々「らしりばってどんなことをしているの?」とご質問を頂くことがあったので、改めてらしりばでの1日を皆さんにご紹介したいと思います。

らしりばは9:00からスタートします。企業様から委託されたクッキーの製造をしており、朝からクッキーの焼けた香りが施設内に漂います。皆さん手際よく四角いクッキーをきれいに揃えて袋に入れます。また別の作業室ではクッキーの生地を四角くカットするために、手作業で生地を平らに伸ばします。これがとても力仕事でクッキーづくりと聞くと細かな作業を思い浮かべますが、重いものを持つたり力が必要な仕事も多くあります。あっという間に12:00になり昼食。利用者同士で会話を楽しんだり、個々で音楽を聴いたりと思い思いの時間を過ごします。



クッキーの袋入れ



機械で袋を閉じている様子

不備がないか確認し箱に入れる



掃除の様子

午後は機械を使ってクッキーの袋を閉じ、商品ラベルを手作業で1枚ずつ貼っていきます。他の作業室では翌日焼くクッキーの材料を計量します。大きな袋から粉を出し1グラムも誤差がないように集中力が必要となる作業です。決められた数を箱に入れ完成!その後掃除をして15:00に終了となります。この他にもたくさんの工程があり、1日に700袋以上のクッキーを作るために、どうすれば効率よく作業ができるか、自ら意見を出し合って日々「自主性」を意識して作業に取り組んでいます。

グルーブホーム雀のお宿（高齢者）

今年はいつになく暑く、感染症防止と熱中症対策の為、外出を控える夏でした。そんな中でも何人かのご家族が来所され、玄関先で会う久しぶりの顔に喜びの表情を浮かべるのを嬉しく思いました。

毎月初めに面会に来られるご家族は、誕生日だからと他のメンバーの分も含め、いちごのショートケーキを差入れて下さいました。トウモロコシの「かんかん娘」を作られているご家族は、「姉さんに食べてもらいたい」と籠いっぱいにお持ち下さいました。「職員さんも食べて。おいしいよ」と弟さんが作ったトウモロコシを誇らしげに話す姿は、とても嬉しそうでした。夏休みでお孫さんが会いに来て下さることもあり、県外にお住まいで普段会えない弟さんが来所された時は、しっかり姉の顔になっていました。これからも元気なお顔をご家族にお見せできるよう支援をしていきたいと思っています。

♡お孫さんとの嬉しい面会♡⇒



グルーブホーム雀のお宿（障がい者）

新型コロナウイルス感染症が第5類になって1年半。しかし今だに感染経路の分からないコロナウイルスが雀のお宿に広がり、入居者の日常と仕事に大きな影響を出しました。今回はスタッフにも感染が及びましたが、利用者・スタッフ共に重篤な症状にはならず、皆さん隔離中の日々を「だるさ」では無く「退屈」で過ごせたのは、不幸中の幸いでした。

そんな日々の後に訪れた今年の夏は、どこか感染の心配を残しつつも、入居者それぞれが楽しんでいました。職場の友人と少し遠方の温泉に出かける方、富士急ハイランドで人混みに参ってしまった方、友人と静岡で海鮮丼を楽しむ方、白菜を育てようと苗を購入する方…。皆さんが各々の夏を満喫された様子でした。





おひさま

おひさまでは8月8日に夏祭りを開催しました。夏祭りの内容は利用者の皆さんで話し合い計画し、ゲームや看板などは一週間かけて準備しました。手作りのお祭りです。夏祭り当日は、たこ焼きゲーム、金魚すくい、射的、お菓子紐引きゲームを皆で楽しみました。たこ焼きゲームは卵パックをタコ焼き機に見立て、右から左にたこ焼きを移動させるゲームです。これがなかなか難しく、皆さんの応援にも力が入り、大変盛り上がりました。好評だったのはかき氷です。6月に皆さんで浸した梅のシロップを凍らせて削ったのですが、甘酸っぱい爽やかな味で「自分たちで浸した梅をかき氷で食べるというのがいいですね」という声が聞かれました。今年おひさまの夏祭りに初参加された方からは「夏祭りは暑い外でやるものだと思っていたけど、涼しい室内で楽しむことができて良かった」と言っていただけ、暑い夏の思い出の1つになりました。秋から冬にかけても旅行やクリスマス会等、企画があります。楽しみにしててください。



相談室りゅうおう

障害者施設におけるBCP（業務継続計画）とは？



社会福祉施設等においては、高齢者や障害者など、日常生活上の支援が必要な方が多数利用していることから、災害等により、電気、ガス、水道等のライフラインが寸断され、サービス提供の維持が困難となった場合、利用者の生命・身体に著しい影響を及ぼすおそれがあります。また、新型コロナウイルス感染症等の感染症発生時においても、サービス提供に必要な人材を確保しつつ、感染防止対策の徹底を前提とした継続的なサービス提供が求められます。こうした事態が生じた場合でも最低限のサービス提供が維持できるよう、緊急時の人員の招集方法や飲料水、食料、マスク等の衛生用品、冷暖房設備や空調設備稼働用の燃料などの確保策等を定める「業務継続計画」(BCP)を策定することが有効であることから、介護分野や障害福祉分野等においては、当該計画等の策定、研修の実施、訓練(シミュレーション)の実施等が義務付けられました。2021年度から3年間、経過措置があり、2024年4月に完全義務化されました。(未策定の事業所は「業務継続計画未策定減算」として減算の対象。)

相談室りゅうおうでも、昨年から、感染症発生時用、自然災害発生時用の2種類のBCPの作成準備を行ってきました。計画相談の場合は、まず独居、主たる介護者が高齢・疾患がある、医療的ケアが必要、など災害時にリスクが高いと考えられる利用者などの安否確認を行う必要がある為、速やかに連絡を行う為の【利用者安否確認シート】も再作成しているところです。今年度は、それら策定したBCPを利用した訓練を行う予定です。

災害時には、その他の福祉サービス、医療サービスの関係者の協力も必要になる為、日頃から災害時を想定した支援体制も確認していきたいと思っております。

相談室りゅうおう管理者 山本祥和



コスモス入所

コスモス入所では、感染対策が続く中、限られた環境の中で思うように活動できないことも多々ありますが、天候の良い日には近くの公園へ散歩に行き、花を見たり季節を感じたりしながら過ごしています。

また、少しずつですがレクリエーションも再開しました。多くの利用者に参加していただいた魚釣り大会やヨーヨー釣りは、釣れた時の歓声が聞かれとても盛り上がりました。障害者文化展に出展するための作品作りに励んでいる男性の利用者は、毛糸で色とりどりのモチーフを編み、ひざ掛けに挑戦しています。職員も出来上がりを楽しみにしています。

個々にではありますが、各種訓練等を頑張っている姿があり、今後も利用者の皆さんの活動を職員でサポートしていけたらと思います。



コスモス通所

通所では、少しずつ以前の活動がもどってきました。外部からの演奏者を招いたライブコンサートや、グループでの外出をしたり、楽しい時間を過ごしています。ライブコンサートでは『友近やっくん』を招き、ゆずの”夏色”や中島みゆきの”糸”などのほかオリジナル曲をギターと歌で盛り上げていただきました。みんな目をキラキラさせ盛り上がっていました。



グループ外出では、ハイジの村や、ラザウォークへ出かけました。ハイジの村ではバラ園の散策やソフトクリームを食べたりと笑顔で楽しまれていました。



買い物グループは、シャツや靴下、おやつ、それぞれ好きな物を買ったり、軽食を食べたり時間いっぱい楽しまれていました。

びゅー



例年に比べ暑い期間が続く今年ですが、皆様はいかがお過ごしでしょうか？
 びゅーでは今年の夏、利用者さんと日曜外出(余暇支援)を計画したり、公園に行き運動をしてこの夏の暑さを乗り切ろうと励みました(熱中症予防に気を付け、適宜水分補給しています。) 日曜外出では、葦崎鉄道公園、明野のひまわり祭り、清里方面に行きミニ SL に乗ったり、避暑地で自然、動物、美味しい外食をしたりして楽しみました。
 今後も毎月外出を計画していきたいと思ってます。



きらり



いつも放課後の時間に賑やかになるきらりですが、夏休みの間は朝からずっと元気な声が聞こえています。今年の夏休みもたくさん遊び、いろんな経験をして、素敵な思い出がいっぱい出来ました。

夏休みといえばプールです。今年はきらりのプールが大きくなり、よりダイナミックに遊べるようになりました。プールは子どもたち皆大好きな活動なので大はしゃぎです。

外出も少しずつ始めています。県立文学館とマクドナルドに行きました。お店に行くことが初めてな子、ハンバーガーを食べることが初めてな子がいて、初めての体験にドキドキでした。初マクドナルドはとっても美味しかったようです。

その他にも調理活動は冷やし中華やアイスクリームを作り、工作は紙漉きやオープン粘土に挑戦しています。オープン粘土は好きな型抜きを選んで色をつけ、オリジナルの箸置きを作りました。家族の分も作って、皆とっても嬉しそうに持ち帰りました。あっという間に終わったように感じる夏休みですが、振り返るとたくさんのことに挑戦して思い出がいっぱいの夏でした。



みなぼし

今年の5月より、昭和町に障害福祉サービス事業所「みなぼし」が開所いたしました。生活介護の事業所です。開所した当初は、中々上手くいかないこともありましたが、職員や利用者との意見を出し合い、少しずつ形になってきました。

利用者の皆さんからリクエストをいただき、さまざまなレクリエーションを行っています。メイク講座やライブラリ、韓国講座など利用者が主体となる活動や、広々とした活動室を活かした、段ボール倒しや風船バレー、テーブルホッケーなど体を動かす活動も取り入れております。6月にはプランター菜園もはじめ、なすや枝豆、ミニトマトが収穫できました。



また、ボランティアの皆さんを積極的に招いております。3B 体操やリミックなどの体を動かす活動や、なかなか体験する事のないアルコールインクアート、沖縄三線やオカリナなどの音楽活動等、様々な活動も行っております。



施設の周辺には公園やコンビニ、イオンモールやオギノなどもありますので、立地を活かし外出活動も積極的に行っています。現在は、少人数に分かれて順番に好きな場所に出掛けております。公園に行って滑り台を滑ったり、イオンモールに行き好きな物を購入、オギノにあるサーティーワンアイスへ行き、美味しいアイスを食べたりしました。また、みなぼしの隣には、セブンイレブンがありますので、1週間のご褒美にジュースやお菓子を買に行ったりしています。



今後も利用者ファーストを理念に、利用者の笑顔が増えるような、さまざまな活動に取り組んでいきたいと思っております。楽しい仲間を募集しておりますので、ご連絡お待ちしております。

編集後記 人生のターニングポイント…自分の価値観や人生の方向性が大きく変わった瞬間や経験を指します。ターニングポイント後の自分が、どう考えどう成長できるのかが大切ですね。様々な経験を重ねて、最後はいい人生だったと思えるように、『お陰様で』という感謝の気持ちを持ちながら日々生活できればと思います。今回もぎんが通信発行にあたり大勢の皆様のご協力をいただきありがとうございました。 <広報委員一同>